



国保税の引き上げはやめて、国の負担
引き上げを求めろべき

日本共産党 大名美恵子 議員

議員 国保財政逼迫のため税の見直しを進めているとのことだが、国保は誰でもどこでも

例の改正議案を平成24年3月議会に上程を考

経済環境部長 公園は村内83カ所すべて測定。公表を予定。線量が高い所はロープで囲み立ち入りを禁止する、土

いつでも保険医療を受けられる国民皆保険体制として確立されたもの。国負担の大幅引き上げで解決を図るべき。

議員 私どものアンケートでは61%が値上げに反対。国保運協の意見も実態を捕らえた指摘。税引き上げではなく、国の負担引き上げを求めるべき。

を除去するなど除染作業を行う。通学路は教育委員会で測定し、線量の高い所は再度測定する。通学路は私有地と接したところもある

通学路・公園の放射線測定と結果の公表を

「震災後の現下、被保険者への過大な負担増を懸念する」との意見もいただいたが、財政状況を考慮すれば税引き上げもやむなしとの答申をいただいた。一定期間の中で県平均額程度までの引き上げは避けて通れず、関係条

議員 きめ細やかな測定と必要な除染が重要。通学路、公園の測定・結果・公表についてどう考えるか。また、専門家を配置した放射線対策室の設置で確実な対応と関係各課の負担軽減を図ってはどうか。

ので、子どもの安全のために土地の所有者と除染等について対応を検討していく。対策室設置は考えていない。議員 関係各課の負担軽減のため、放射線対策室等の設置の必要性を再度指摘したい。



警視庁通達「自転車は原則車道走行」
に対する村内道路の考え方は？

光風会 恵利 議員

議員 自転車に絡む事故が増加傾向にあることを受け、10月25日警視庁が自転車走行に対する通達を出した。この通達により、①村内の自転車走行可能な歩道はどのように変わるのか。②村内のどの辺りにどのくらいの距離があるのか。

建設水道部長 地球温暖化防止のため、りんりんで走る東海村自転車利用促進計画を平成17年度に策定し、エコりんをはじめ、自転車の利用促進を推進中。村ではスペースの有効利用を図るため、歩道を自転車で行くことが

できる自歩道という形で整備を進め、南北で6路線、東西で5路線、計11路線を自歩道として指定。その整備延長は40kmを超えている。最近、この自歩道で自転車と歩行者の衝突事故が増える傾向にあり社会問題となっており。自転車走行ルール徹底などを盛り込んだ警視庁の通達に対し、茨城県公安委員会では、地元の要望等を考慮して決定すること。これを受け、村では今回の見直しに該当する3m以下の自歩道についても、引き続き指定の継続を求めていく考えである。併せて自転車を利用する人のマナー教育が非常に大切かと考えている。

議員 水戸市やつくば市では、自転車通行環境モデル地区を定め積極的に取り組んでいるが、村の考えは。

建設水道部長 みちづくり基本計画の中でモデル地区を定め、環境整備を図っていきたいと考えている。

建設水道部長 みちづくり基本計画の中でモデル地区を定め、環境整備を図っていきたいと考えている。



自転車専用道路(水戸市)